

股関節手術の周術期管理・合併症治療の多施設調査と人工知能構築

について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

大阪大学整形外科の関連病院で行われる股関節手術の周術期管理や合併症治療の実態を調査する。過去10年間の後ろ向き調査を行う。周術期管理や合併症治療の標準化を行い、今後5年間の前向き調査を行い、周術期管理の改善を評価する。得られたビッグデータを用いて合併症管理人工知能を構築する

【対象】

大阪大学整形外科の関連病院13施設で行われる股関節手術すべてを対象とする。年齢制限は設けない。対象施設は、大阪大学医学部附属病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪労災病院、関西労災病院、住友病院、独立行政法人国立病院機構大阪医療センター、独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター、独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院、独立行政法人地域医療推進機構星ヶ丘医療センター、ベルランド総合病院、協和会病院、市立伊丹病院、市立吹田市民病院である。

【調査項目】

1 後ろ向き研究

過去10年間に各施設で行われた股関節手術の術前情報（年齢、性別、身長、体重、ASA score、原疾患、併存症、血液検査、Covid-19スクリーニング検査、画像検査（X線、CT、MRI、骨密度検査））、手術データ（術式、手術時間、出血量、手術計画、使用機種、術中合併症）、術後合併症（出血、感染、骨折、脱臼、偽関節、神経障害、血栓塞栓症を含む血管障害、他臓器障害）、再手術とその原因を後向きに収集し集計する。

2 前向き研究

今後5年間の各施設で行う術前情報（年齢、性別、身長、体重、ASA score、原疾患、併

存症、血液検査、Covid-19 スクリーニング検査、画像検査（X線、CT、MRI、骨密度検査）)、手術データ（術式、手術時間、出血量、手術計画、使用機種、術中合併症）、術後合併症（出血、感染、骨折、脱臼、偽関節、神経障害、血栓塞栓症を含む血管障害、他臓器障害）、再手術とその原因を前向きに収集し集計する。

3 人工知能構築

データを奈良先端科学技術大学院大学に提供し、合併症の発生、治療効果を予測する人工知能を構築する。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

承認日から 2026 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究代表者】

高尾 正樹

大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学整形外科学・講師

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15

TEL : 06-6879-5111

FAX : 06-6879-5390

E-mail : masaki-tko@ort.me.osaka-u.ac.jp

【当院の研究責任者】

小川 剛

関西労災病院 整形外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稻葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail : takeshi_0206@hotmail.com